

新春特集号

新聞記者から見た

座談会

国立大学法人化20年

全大教新聞

2025年1月10日

第427号

【発行所】
全国大学高専教職員組合
(略称・全大教)



【PDF版(全面カラー)】
http://zendaikyoo.or.jp/?page_id=107
【電話】03-6802-4250
【HP】<http://zendaikyoo.or.jp/>
【所在地】〒110-0012
東京都台東区竜泉
2-20-15 都築ビル2階

* 組合員の購読料は
組合費に含まれて
います(一部30円)

今月の紙面

- 2 座談会
「新聞記者から見た国立大学法人化20年」続き
- 3 文科省会見(11月29日)
「人件費増や物価高に対応できる十分かつ緊急の予算措置等要望」
- 3 財務省要請(11月27日)
「運営費交付金拡充を求める」

- 4 「新年連帯挨拶」
- ・日本私立大学教職員組合連合会
- ・全国公立大学教職員組合連合会
- ・日本教職員組合
- ・全日本教職員組合
- ・日本新聞労働組合連合会
- ・日本医療労働組合連合会



笹倉万里子
中央執行委員長
鳥取大学乾燥地研究センター
京都大学工学部情報工学卒業、奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科修了、九州大学(博士工学)。専門は情報通信、知能情報学。1996～2023年岡山大学学術研究院自然科学学域。現在、鳥取大学准教授。



山口裕之
中央執行副委員長
徳島大学総合科学部
東京大学文学部卒業、東京大学大学院人文社会系研究科哲学専門分野(博士文学)。専門はフランス近代哲学、科学哲学。現在、徳島大学教授。著書に「みんな違ってみんないい」のか? (ちくまプリマー新書2022)他。



辻村達哉
共同通信社
東北大学理学部卒業、大阪支社社会部を経て本社ラジオ・テレビ報道部、科学部。現在、編集委員と論説委員を兼務。著書に「日本の知、どこへどうすれば」と科学研究の凋落を止められるか? (2022.6共同通信社日本の知、どこへ取材班他。



増谷文生
朝日新聞社
大阪市立大学卒業、東京社会部で大学関連の取材を担当、仙台、京都両総局等を兼務。現在、東京社会部員、論説委員を兼務。著書に「限界の国立大学一法人化20年、何が高等教育を劣化させるのか?」(2024.11朝日新聞社「国立大の悲鳴」取材班)他。

長年に渡って大学を見つめてこられた新聞記者の視点から、大学や政府について思うこと、大学のありべき姿の実現に向けこれから大学教職員組合が進むべき方向性について自由に語っていただきました。

【山口】 司会を務めさせていただき山口です。よろしくお願いいたします。国立大学の法人化が2004年に始まり、私は2003年に国立大学に採用され、最初は公務員だったのですが、

大学教育の変化
【辻村】 2019年からスタートした『日本の知、どこへ』という企画で、昔からの知合いの先生に話を聞きに行くと、変わってきているどころか想像を絶するような状況になっていまして。例えば、地方の大学だと学生の生活のケアを教授がやらなければいけない。ある日事務から「この学生さん、最近大学に顔を見せられないので、先生見に行ってください」みたいな連絡があって、昼間に行きたくらば、郵便物が入っているか見て、夜も灯りがついてるかどうかも見てとか、そんなことまでやらされて、研究なんか手につかないだろうと思ってしまいます。他の国立大学

の先生に言くと、「いや、それは普通ですよ」と言われるので、今はそういうふうになってしまっているのか、それは本当にいいことなのかとすごく疑問に感じたりします。

【笹倉】 そういうことはあります。電話をかけても出ない時は見に行ってもありません。私は工学部なので出てこなくなる学生が多くなかったのですが、頻繁ではありませんが、【山口】 私が勤務している大学では、1学年1700人、180人ぐらいいで、学校に出てこなくなる学生は平均すると毎年2人ぐらいいです。まず授業に出てこなくなったら、授業担当者がメールを送る。それで出てこない、学務係が電話をかける。さらに出てこなかったら、保護者に教務委員

が電話します。1年生の1学期でつまずくと、留年、休学を続けて、結局8年後に退学となるケースが多いです。とはいえ、大部分の学生は放っておいても大丈夫です。増谷さんはご自身の大学時代と比べてどのよう感じられておられますか。

【増谷】 私が学生のころは基本的に放つたらかしてしまっただけで、現在の大学はほとんど高校化したとよく言われています。このようになったのは、法人化でしっかり学生支援を行うように求められた影響があると思います。あと、親子関係の変化もありません。子どもをずっと手塩にかかして、昔だったら過保護と言われていたようなことを、受験から何から見守ってきか、大学に入れて、学費も高くなりました。国立大学でも50何万円も払うようになって、そうしたら権利意識が生まれるのも仕方ないのかなと。最近の学生の性質を考えると、ケアはあ程度必要だと思えます。

大学に求めること
【山口】 私たちは学生のためにはこういうふうな教育をすべきだと思つていろいろやっていますが、外から見ると、大学には何を求めていますか。もしおさんがいらつしやるようだったら親の立場から、あ

【辻村】 大学の教育というのは、研究者の目、社会人の目から、どういふ教育をして欲しいですか。

【増谷】 私が大学へ入学した1990年はユニバーサル化する前で進学率は25%でした。でも今は50%になり、国立大学といえどもトップレベルでなければ、同じことを求めるのは難しいのかなと。勉強したいことがないとか、将来目指すものがないような学生たちに対して、様々なケアが必要であると自然と先生たちも思うようになったのだと思います。教育や学生支援に教員が時間を割くようになったという面では、大学改革は大きく影響した、少なくとも風潮といえますか空気がつくつたと私は思います。